トステム株式会社

ランバーフェンス　取付け説明書

■施工される方へのお願い

●この説明書は施工完了後、お施主様にお渡しください。
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 注　意

●本製品を手すりとして使用しないでください。手すりとしての強度がないため、落下・転落のおそれがあります。住宅1階床高を超える場所には取り付けないでください。
●笠木までの高さ(H)を、900mmより低くしないでください。転落するおそれがあります。
●シーリング指定個所には必ずシーリング材を充てんしてください。躯体へ雨水が浸入するおそれがあります。
●木部の切断面は必ず面取りし、保護塗装をしてください。けがをするおそれがあります。

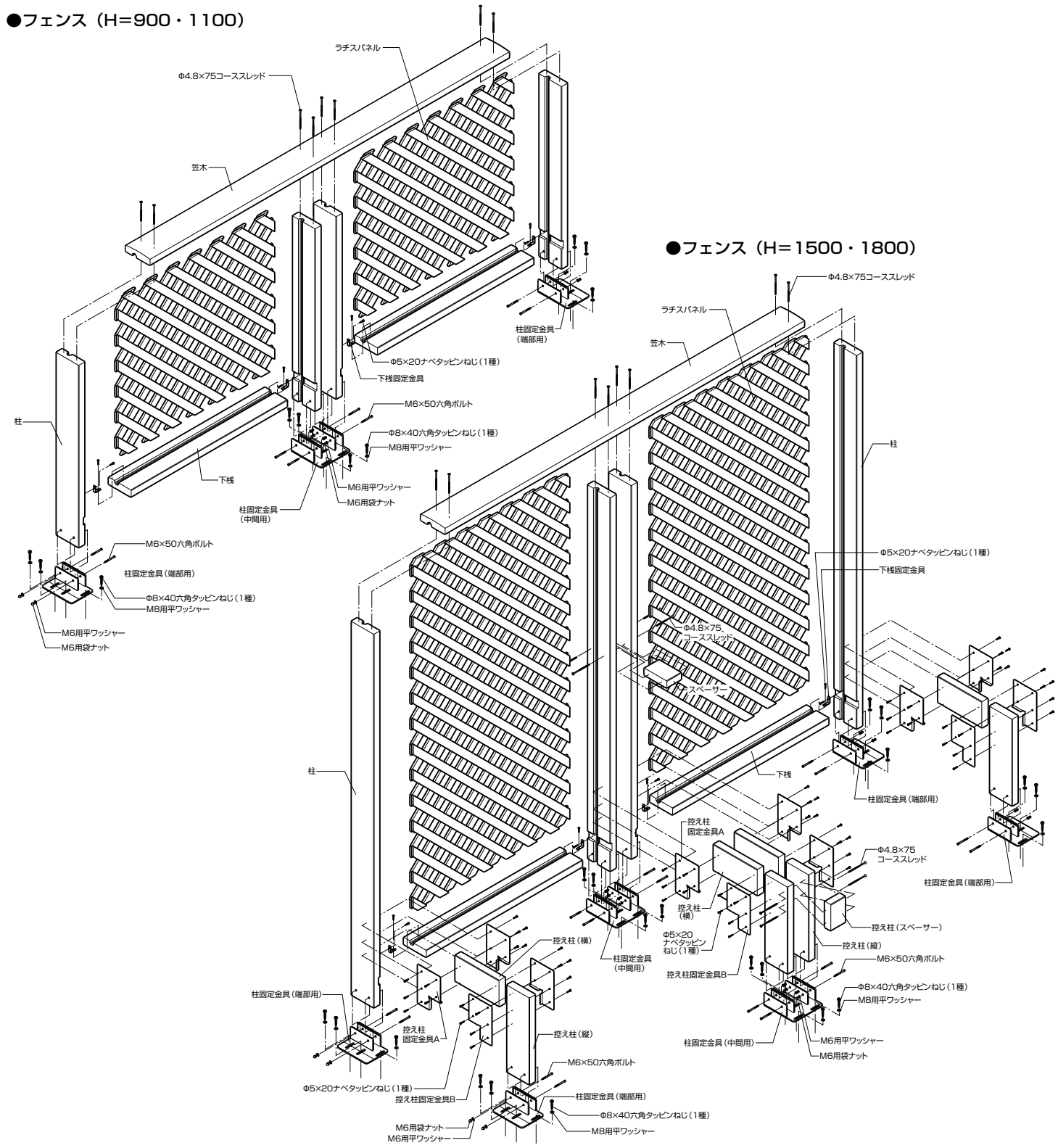
■施工上のお願い

製品破損防止のため、下記事項を守ってください。
●タッピンねじの下穴には、指定の下穴より太いドリルを使用しないでください。
●必ず指定の組立てねじ・ボルトで固定してください。
●本製品をランバーステージ以外に取り付けないでください。
●改造・変更をしないでください。
●取付けは必ず専門業者の方が行ってください。不具合発生の原因となることがあります。
●水平・垂直は正確に出してください。組み立てられなくなることがあります。
●当社指定の付属品以外は取り付けないでください。

■お施主様へのお願い

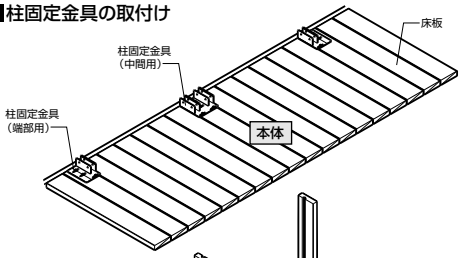
●当社指定の付属品以外は取り付けないでください。
●ボルト・ナット・ねじ等は絶対にゆるめないでください。
●木部外観を維持するため、1回/年の割合で再塗装してください。

■構造説明図

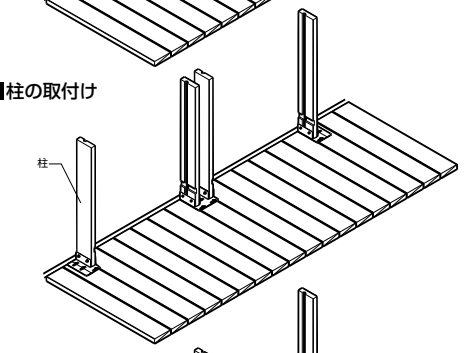


■取付け順序

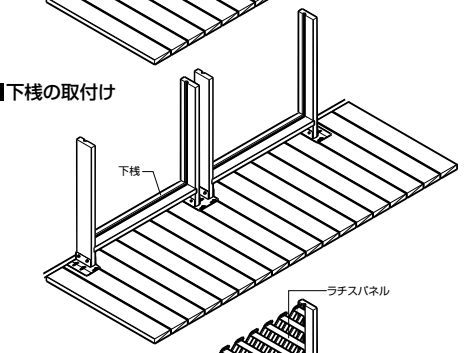
1 柱固定金具の取付け



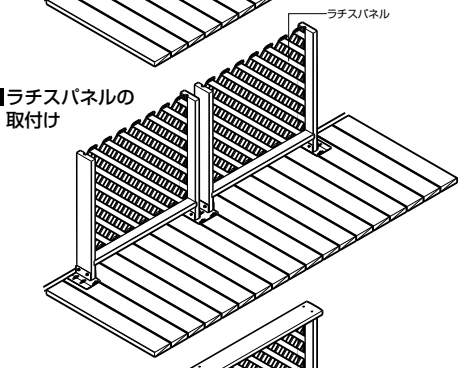
2 柱の取付け



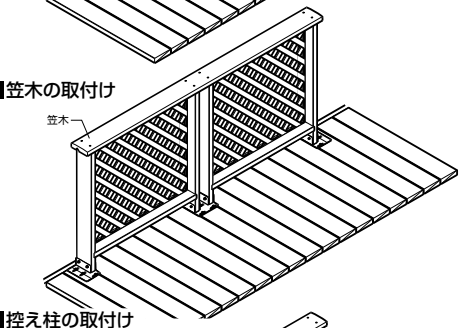
3 下桟の取付け



4 ラチスパネルの取付け



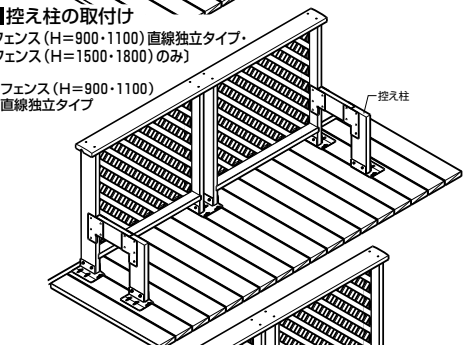
5 笠木の取付け



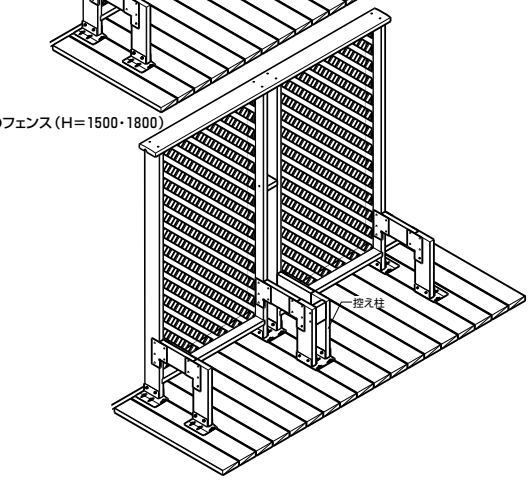
6 控え柱の取付け

〔フェンス（H=900・1100）直線独立タイプ・フェンス（H=1500・1800）のみ〕

●フェンス（H=900・1100）直線独立タイプ



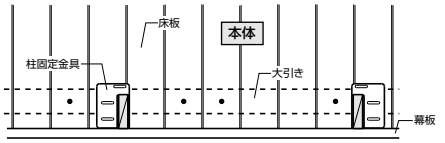
●フェンス（H=1500・1800）



■取付け詳細

■床板の補強

※フェンスを本体の床板と平行に取り付ける場合は、必ず下図のとおりにねじ打ちし、床板を補強してください。



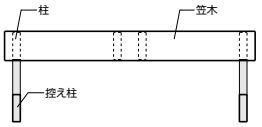
〔フェンスが床板と直角〕※補強は不要です。

〔フェンスが床板と平行〕

■フェンスの補強

※フェンス（H=900・1100）を直線に独立して施工する場合は、必ず両端に控え柱を取り付けてください。

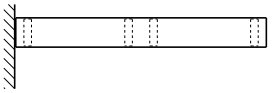
〔直線独立タイプ〕



〔壁付けタイプ〕

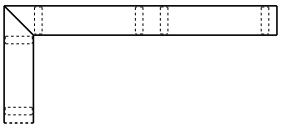
●笠木固定金具を使った場合

※控え柱は不要です。



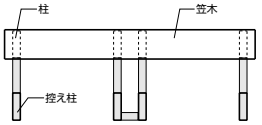
〔L型タイプ〕

※控え柱は不要です。



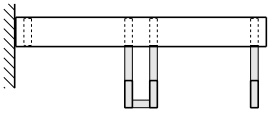
※フェンス（H=1500・1800）には、すべての柱に控え柱を取り付けてください。

〔直線独立タイプ〕

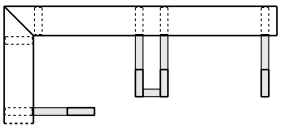


〔壁付けタイプ〕

●笠木固定金具を使った場合

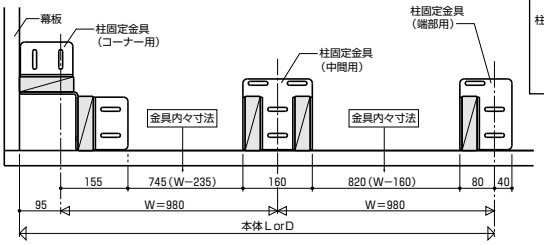


〔L型タイプ〕

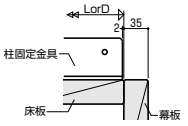


1 2 柱固定金具・柱の取付け

①柱固定金具の位置出しをします。



〔フェンスが床板と平行〕



〔フェンスが床板と直角〕

※本図は規格W寸法（W=980）の場合を示します。W寸法は、現場に合わせて決めてください。（P.4の割付け寸法参照）

※柱固定金具は、床板側面から15mm以上、かつ床板小口面から35mm以上離してねじ止めしてください。

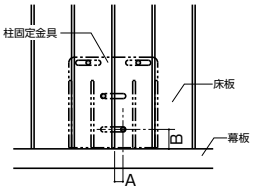
②柱固定金具を床板に取り付けます。

③柱固定金具に柱を仮止めします。

※フェンス取付け完了後、垂直出しをしてから固定してください。

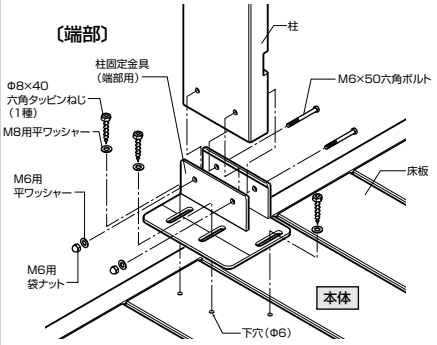
④フェンス（H=1500・1800）の場合は、柱〔中間部〕の中央にスペーサーを取り付けます。

※床板の割れ防止のため、ねじ位置は下記に従ってください。

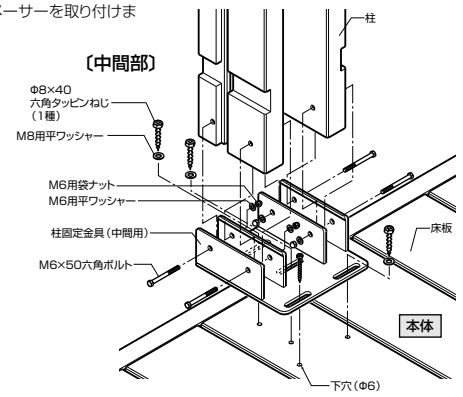


A（床板側面からの寸法）≧15mm
B（床板小口面からの寸法）≧35mm

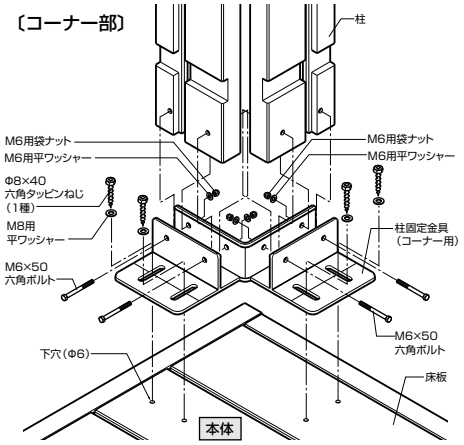
〔端部〕



〔中間部〕

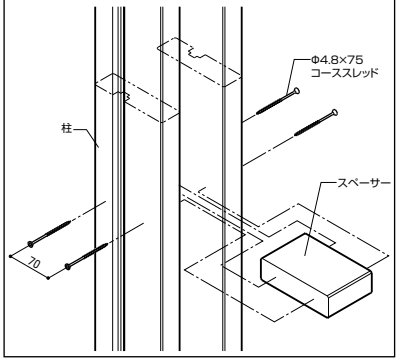


〔コーナー部〕



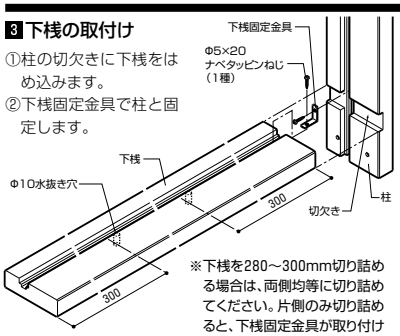
●フェンス（H=1500・1800）の場合

※柱〔中間部〕の中央に、スペーサーを取り付けます。



3 下桟の取付け

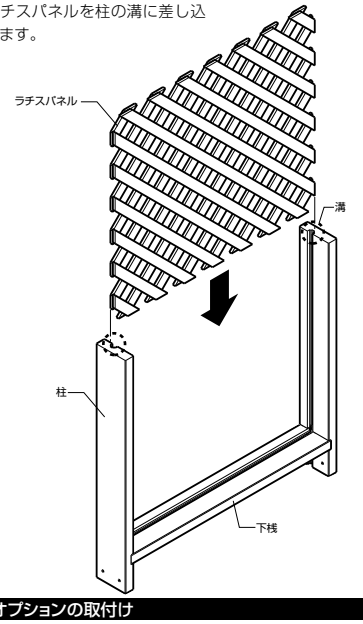
①柱の切欠きに下桟をはめ込みます。
②下桟固定金具で柱と固定します。



※下桟を280～300mm切り詰める場合は、両側均等に切り詰めてください。片側のみ切り詰めると、下桟固定金具が取り付けられず、組み立てられなくなることがあります。

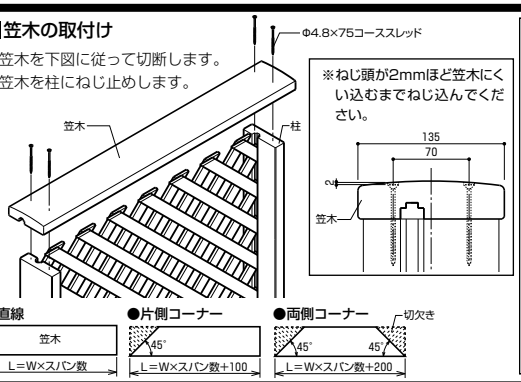
4 ラチスパネルの取付け

①ラチスパネルを柱の溝に差し込みます。



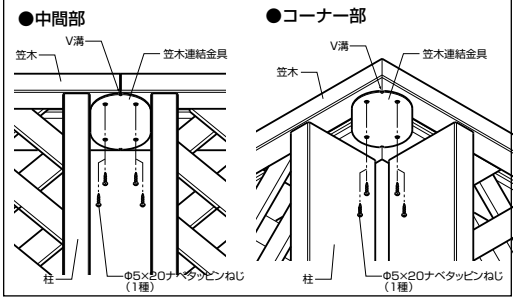
5 笠木の取付け

①笠木を下図に従って切断します。
②笠木を柱にねじ止めします。



〔笠木を連結する場合〕

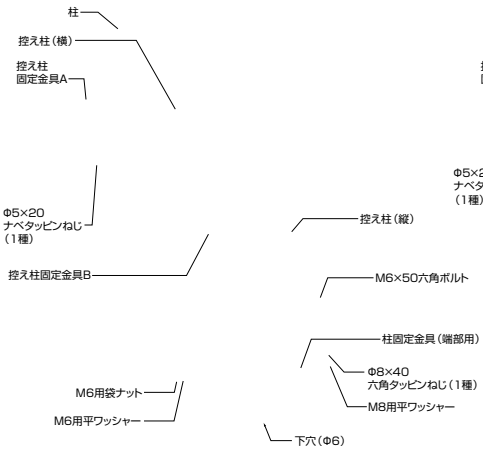
※笠木連結金具のV溝を笠木の連結部に合わせて取り付けてください。



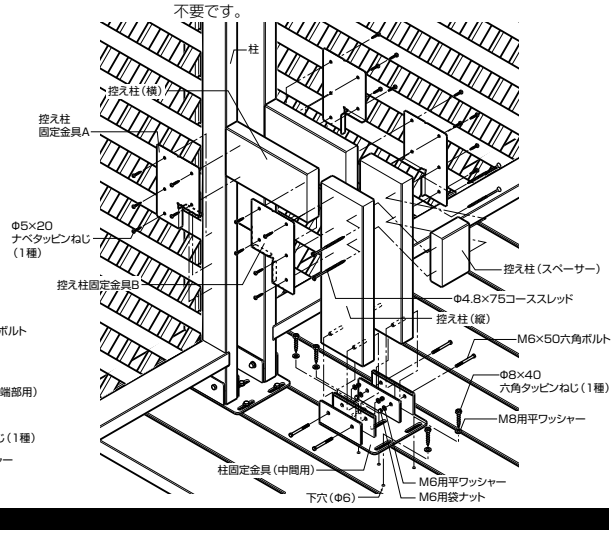
6 控え柱の取付け〔フェンス（H＝900・1100）直線独立タイプ・フェンス（H＝1500・1800）のみ〕

※コーナー部には、控え柱は取り付けません。
①控え柱(縦)と控え柱(横)を、控え柱固定金具でL型に組み立てます。
②柱固定金具を控え柱(縦)に取り付けます。
③控え柱（横）を柱に合わせ、控え柱固定金具で柱に固定します。
④柱固定金具を床板に固定します。
⑤中間部は、控え柱（スペーサー）を控え柱（縦）に固定します。

●端部



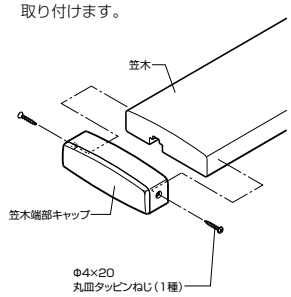
●中間部 ※フェンス（H＝900・1100）直線独立タイプは、中間部の控え柱は不要です。



■オプションの取付け

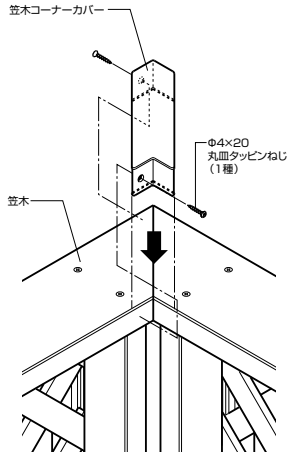
〔笠木端部キャップ〕

①笠木の端部に、笠木端部キャップを取り付けます。



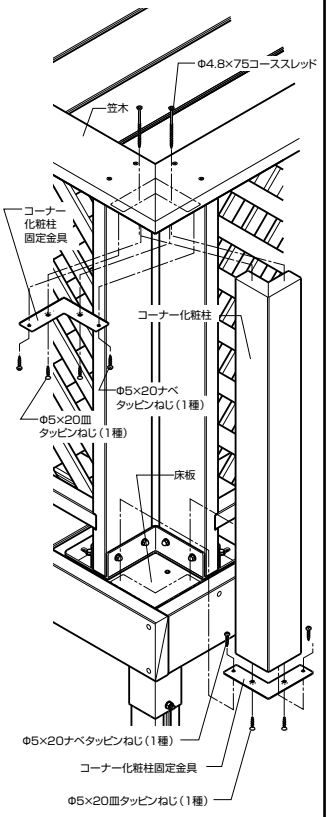
〔笠木コーナーカバー〕

①笠木コーナー部に、笠木コーナーカバーを取り付けます。



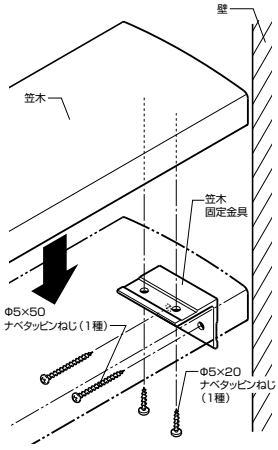
〔コーナー化粧柱〕

①コーナー化粧柱固定金具を笠木コーナー部の裏面に当て、笠木を固定します。
②コーナー化粧柱に、コーナー化粧柱固定金具を取り付けます。
③コーナー化粧柱を床板・笠木に固定します。

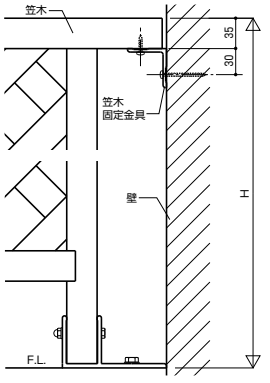


〔笠木を壁に固定する場合〕

①笠木固定金具を壁に取り付けます。
※笠木固定金具は柱を立てる前に壁に取り付けてください。
②笠木固定金具に笠木を取り付けます。

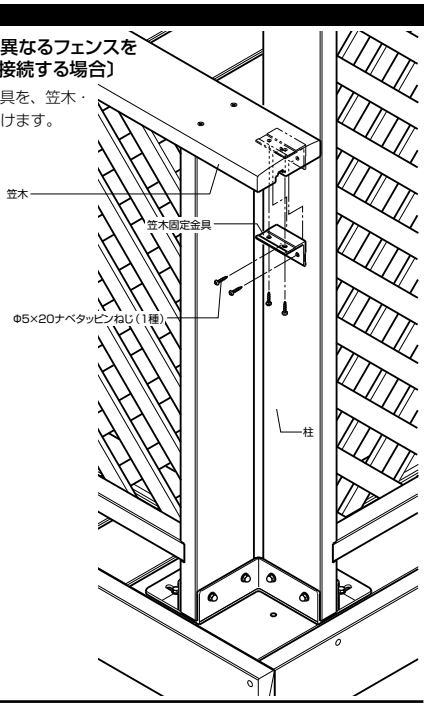


※笠木固定金具をフェンスの柱に固定する場合は、φ5×20ナベタッピンねじを使ってください。



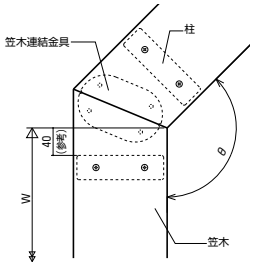
〔H（高さ）の異なるフェンスをコーナーで接続する場合〕

①笠木固定金具を、笠木・柱に取り付けます。

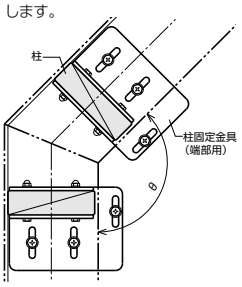


〔コーナー角度自在の場合〕

●笠木
①笠木連結金具で笠木を固定します。

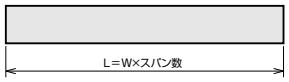


●柱
①柱固定金具（端部用）で柱を固定します。

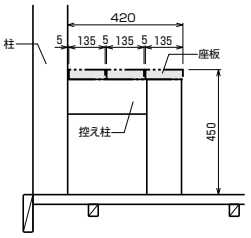


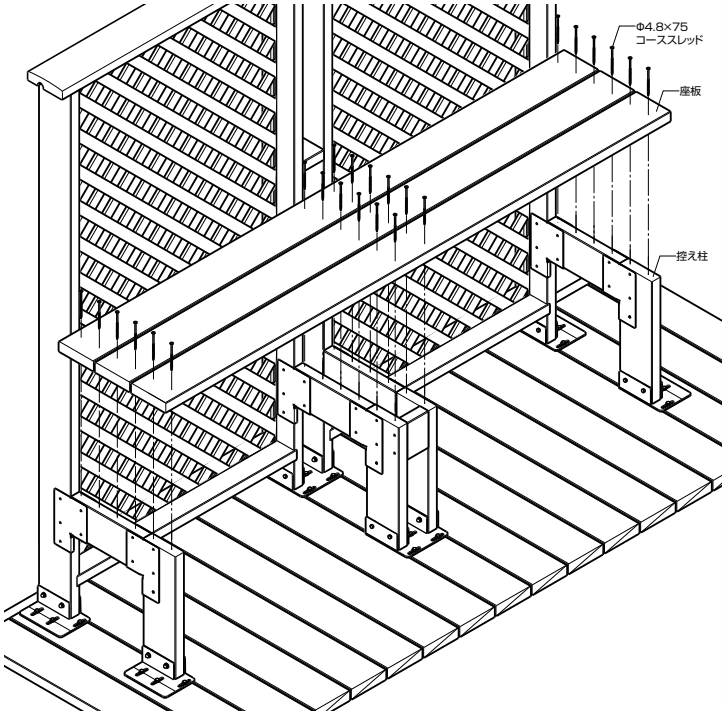
〔控え柱を使用してベンチを作る場合〕

※コーナー部には取り付けられません。
※座板には、床板・幕板等を使用してください。
①座板を下図に従って切断します。



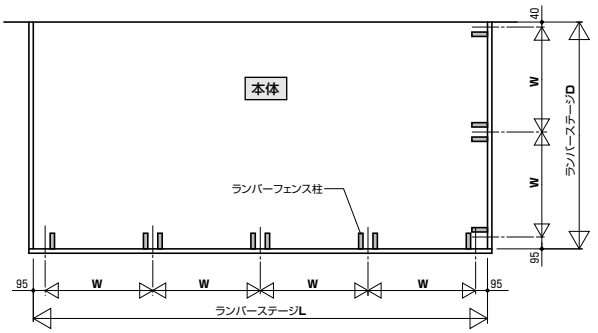
②座板を控え柱にねじ止めします。





■ランバーステージ対応について（参考）

※ランバーステージ本体のサイズに合わせて均等に割り付ける場合は、下記を参照してくださ



〔寸法公式表〕

W	間　口	(L−190)/スパン数
	出　幅	(D−135)/スパン数
笠木長さ	直　線	W×スパン数
	片コーナー側	W×スパン数+100
	両コーナー側	W×スパン数+200
下桟長さ	W−130	
ラチスパネル幅	W−130	

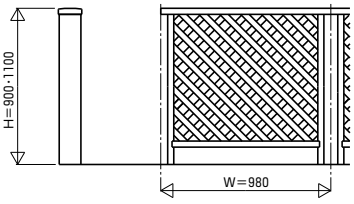
〔スパン数対応表〕

間　口	ランバーステージL	スパン数	出　幅	ランバーステージD	スパン数
1.0間	1955	2	3R	975	1
1.0間ワイド	2375	3	4R	1255	2
1.5間	2795	3	5R	1535	2
1.5間ワイド	3215	4	6R	1815	2
2.0間	3635	4	7R	2095	2
2.0間ワイド	4055	4	8R	2375	3
2.5間	4755	5	9R	2655	3
2.5間ワイド・3.0間	5695	6	10R	2935	3
3.0間ワイド・3.5間	6435	7	12R	3635	4
3.5間ワイド・4.0間	7275	8	13R	3915	4
4.0間ワイド	8115	9			

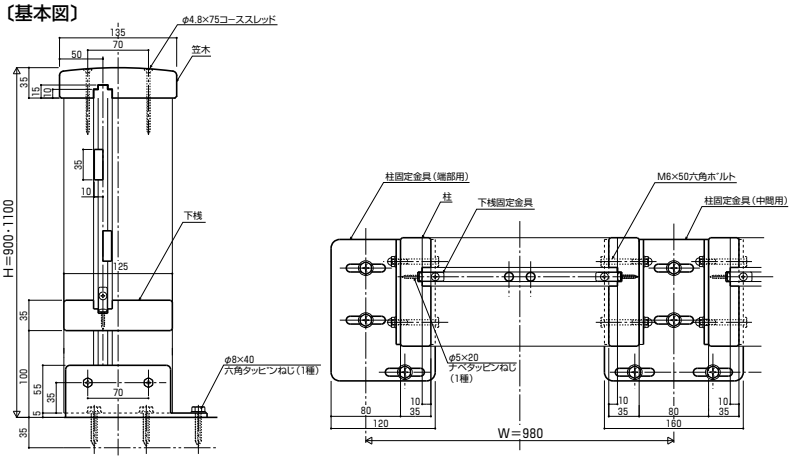
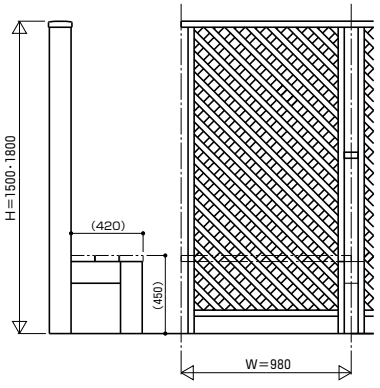
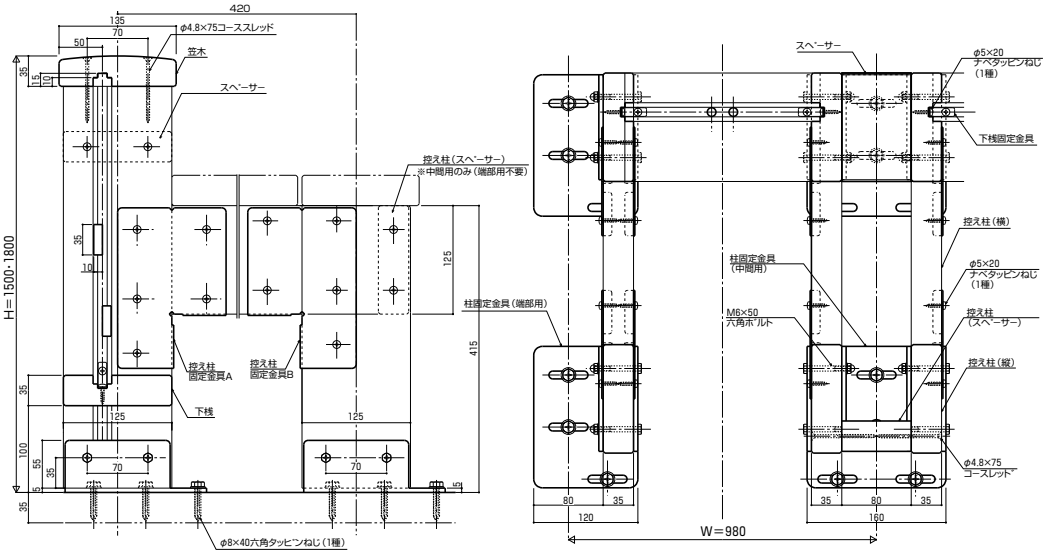
■参考納まり図

〔姿図〕

●フェンス（H＝900・1100）



〔基本図〕



●フェンス（H＝1500・1800）